

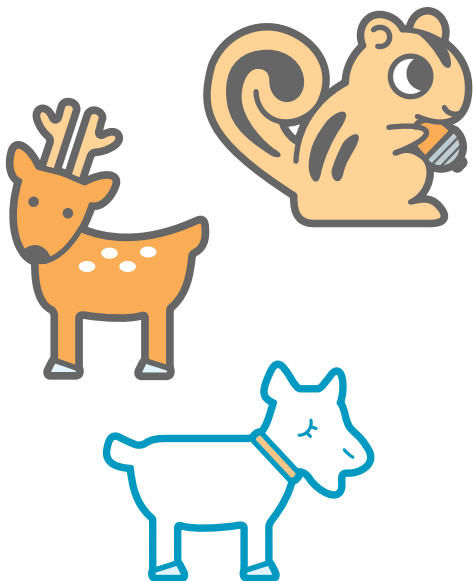
No.21

がけはし

発行/社会福祉法人
北海道ハピニス
〒005-0849
札幌市南区石山933番地3
☎(011)591-5211
☎(011)592-5063
発行日/2009.7.31
発行人/理事長 太田三夫
編集/広報委員会



リクガメ意外と動きが速く、追いつくのに必死だったよ。



リスザル可愛いなあ。



「施設整備あり方プロジェクトチーム」から報告書が提出されました

社会福祉法人北海道ハピニス
事務局長 田村英司

平成24年12月法人創立40周年を迎えるにあたり、老朽整備を含めた施設全体のハード、ソフトの問題点を洗い出すプロジェクトを平成19年9月前春野理事長が役員に囃り、外部・内部委員により構成する「施設整備あり方プロジェクトチーム」を立ち上げました。委員として外部より専門家3名、内部より5名の職員、その他事務局員（会議録整理、資料集め等の任務）として各職域から4名の若手職員が任命されました。

この度、1年半の検討による結果を「報告書」にまとめ、5月末の理事会・評議員会においてプロジェクトチーム石川座長（北海道医療大学看護福祉学部教授）から検討結果報告がありました。

チームは、委員会を14回開催、職員は委員会の他内部検討会議を開催に合わせ何度も開催する等普通の仕事の他に多忙な毎日を送りました。検討段階では、全職員にアンケート、キャプション評価を行ったり、分担して胆振、後志、地域にある優良施設の見学や東京方面に出かけた職員はモデルとなる施設見学を行う等多くのデータを得てまとめ上げました。

当法人の検討プランの特徴は、一般に行われている設計業者、建設業者から施設に合わせた建物配置のたたき台を基に検討するのでは無く、現状の客観的な評価を行い、「ゼロベースプラン」を行なった結果による集大成として基本理念・コンセプト・配置プランをまとめ上げた点です。

特に将来を担う事務局員は、施設構想を自分たちで基礎から携わったという達成感からその苦労も無かった？と思われます。

今後は報告書を基に建設準備委員会を立ち上げ、実現に向け諸準備を行います。

おわりに石川教授はじめ外部の専門家の皆様には、お忙しい中何度も施設にお越しいただいたり、夜間の委員会開催にご出席いただき深く感謝申し上げます。1年半の検討結果が、平成24年法人40周年に「大きな実」がつくことを念じます。



「北海道ハピニスと地域のかげはしとなる事を目指して」

北海道ハピニス地域事業部
部長 桧森道子

平成20年4月より法人内の組織を改編し、地域での事業をより効率的にまた一体的に行なう事ができるようになるという事と、「社会福祉法人北海道ハピニス」が石山の地に法人を設立し40年近くの歳月を経ているにもかかわらず、地域での知名度がなかなか上がっていないといった状況のため、法人の名前が地域で根づくよう和幸園地域介護支援センターを改め「北海道ハピニス 地域事業部」として発足致しました。組織改編に伴いそれまで特別養護老人ホーム和幸園の生活相談員として30余年勤務させていただいておりましたが、在宅での活動に対しほとんど知識を持たないまま地域事業部長として重責を担う事となり、不安と未知の分野に対する期待の交差する毎日です。

特別養護老人ホーム和幸園では、利用されているお年寄りの方々に色々なお知恵をいただき、また数々の失敗も広いお心で包んでいただきながら勤務させていただいておりました。昨年より施設から初めて外へ出て、文字どおり地域との関わりを多くするため、地域との繋がりを橋渡しして下さっていた石山・芸術の森地区のボランティアの皆様へ、地域のあちらこちらの場所でお会いする事ができ心強く業務に励む事ができております。

昨年度には和幸園指定居宅介護支援事業所、和幸園・グリーンハイムホームヘルプサービス事業所、介護予防センター石山・芸術の森、和幸園芸術の森デイサービスセンター「のえるの森」、生活介護事業所グリーンハイムの6事業所でスタートし、本年度に入り和幸園デイサービスセンターが加わり7事業所を所轄した「部」となっております。この7事業所が相互に連携し合い、入居施設であるグリーンハイム及び和幸園との連携をスムーズにし、在宅から施設へあるいは施設から在宅へ、そして利用者を取り巻くご家族や地域での連携を保つ為の情報を発信し継続する事が、地域へのかげはしとなる事と考えております。

地域でどのような連携・情報発信を行っていくにしても、「人材」が大きく影響してきます。お蔭様で地域事業部で働く職員もそれぞれに素晴らしい資質をもった職員が多く、このような有能な人材が集結している事に感謝しながら今後の仕事に励んでいきたいと思っております。今後ともよろしくご指導お願いいたします。

事業推進室

～地域社会から必要とされる施設づくりを目指して～

平成21年4月より、①ご利用いただく方々に満足していただける施設作り、②地域社会に認知され、必要とされることを目指す施設作り、③めまぐるしく変化する法・制度へ対応するためのマネジメントを行うことを目的として、法人内に事業推進室が設置されました。

これからは、地域の皆様が望むサービスのあり方や、地域社会での福祉課題について、地域の皆様とともに考え、学び、解決に向けフットワーク良く活動していきたいと考えております。どうぞご指導・ご協力の程、お願い致します。

それでは、今年度の取組みから1つご紹介させていただきます。

6月25日（木）札幌市南区社会福祉協議会企画事業「南区ボランティア入門研修会」の受入れを行いました。内容は、施設見学会、施設におけるボランティア活動紹介、そして体験ボランティアとしてご利用者との交流会としました。

今回の研修会受入れを通じて、地域の福祉教育、地域のボランティア育成への場として、そして障がいをお持ちの方々や高齢者が住みやすいまちづくりへ向けた取り組みのあり方について、改めて考え学ぶことができ、当法人にとっても大変有意義なものとなりました。

最後になりますが、今回のボランティア研修会にご参加いただいた受講者の皆様が、今後ボランティアとして活躍されることを心より期待しております。
※研修会の様子の写真を掲載しております。



【研修会の様子】



【交流会（体験ボランティア）の様子】

平成21年度 法人キャッチフレーズ決定!!

「立ち止まり目くばり気くばり思いやり」

職員から35点の応募があり、その中から簡易な言葉で職員が1年間目標として向上できる内容という事で選ばれました。

ご寄付をいただきました

（平成21年4月～6月）

寄付先	寄付者氏名	寄付金額（円）
グリーンハイム	本九町 増 様	18,590
和幸園	中村 芳雄 様	50,000
和幸園	Y・E 様	10,000
合 計		78,590

その他多くの物品の寄付もいただいております
大切に活用させていただきます。ありがとうございました。





平成20年度 社会福祉法人

貸借対照表（平成21年3月31日現在）

科 目	本部会計	グリーンハイム会計	生活介護事業所 グリーンハイム事業会計	身体障害者ホームヘルプ サービス事業会計
資産の部				
流動資産	33,261	91,850	7,800	29,326
固定資産	26,792	501,094	2,219	0
資産合計（A）	60,053	592,944	10,019	29,326
負債の部				
流動負債	825	13,829	456	443
固定負債	0	67,591	1,389	4
負債合計（B）	825	81,420	1,845	447
純資産の部				
基本金	0	244,885	0	0
国庫補助金等特別積立金	0	188,557	0	0
その他の積立金	0	113,357	0	0
繰越金	59,228	△35,275	8,174	28,879
前期繰越金	47,806	△41,889	7,149	23,415
当期繰越金	11,422	6,614	1,025	5,464
純資産合計（C）	59,228	511,524	8,174	28,879
負債・純資産合計D（B+C）	60,053	592,944	10,019	29,326

事業活動収支計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

科 目	本部会計	グリーンハイム会計	生活介護事業所 グリーンハイム事業会計	身体障害者ホームヘルプ サービス事業会計
収入の部				
介護保険料（支援費）		349,547	22,867	15,055
診療収入				
利用料収入		61,309	1,984	520
経常経費補助金収入		2,235	3,244	
寄付金収入	498	100		
手数料収入				
雑収入	3,295	4,279	48	
引当金戻入		284	12	3
国庫補助金等特別積立金取崩額		9,460		
借入金利息補助金収入		520		
受取利息配当金収入	40	715	4	16
経理区分間繰入金収入	24,085	5,710		
収入合計（A）	27,918	434,159	28,159	15,594
支出の部				
人件費	1,450	308,492	20,903	5,054
事務費支出	9,358	31,510	2,174	72
事業費支出		71,815	3,767	
診療所費				
減価償却費	654	12,393	19	
引当金繰入		6,990	200	4
徴収不能額				
借入金利息支出		520		
経理区分間繰入金支出	6,000			5,000
支出合計（B）	17,462	431,720	27,063	10,130
収支差引額C（A-B）	10,456	2,439	1,096	5,464
施設整備補助金・固定資産取得寄付金（D）	1,000	4,700		
国庫補助金等特別積立金・固定資産処分損（E）	34	525	71	
当期繰越活動収支差額(当期繰越金) F（C+D-E）	11,422	6,614	1,025	5,464

北海道ハピニス決算報告

(単位千円)

和幸園会計	和幸園デイサービス 事業会計	芸術の森デイサービス (のえるの森) 事業会計	在宅介護支援センター 事業会計	ホームヘルプ サービス事業会計	グリーンハイム 診療所会計	合 計
224,017	44,913	12,513	7,143	112,342	53,727	616,892
471,864	5,908	1,958	5,448	1,973	2,515	1,019,771
695,881	50,821	14,471	12,591	114,315	56,242	1,636,663
12,170	1,690	260	3,362	292	1,826	35,153
39,890	2,211	1,094	4,888	1,566	666	119,299
52,060	3,901	1,354	8,250	1,858	2,492	154,452
152,677	0	0	0	0	0	397,562
141,146	0	0	0	0	0	329,703
129,327	0	0	0	0	0	242,684
220,671	46,920	13,117	4,341	112,457	53,750	512,262
195,826	47,059	4,835	4,053	105,025	55,678	448,957
24,845	△139	8,282	288	7,432	△1,928	63,305
643,821	46,920	13,117	4,341	112,457	53,750	1,482,211
695,881	50,821	14,471	12,591	114,315	56,242	1,636,663

(単位千円)

和幸園会計	和幸園デイサービス 事業会計	芸術の森デイサービス (のえるの森) 事業会計	在宅介護支援センター 事業会計	ホームヘルプ サービス事業会計	グリーンハイム 診療所会計	合 計
348,885	43,610	29,542	21,219	56,203		886,928
					27,842	27,842
63,870	6,573	5,625		6,707		146,588
984			7,742			14,205
1,196						1,794
					677	677
4,891	3,321	7	28	8	731	16,608
286	47	30		32	4	698
11,649						21,109
						520
774	58	12	7	553	131	2,310
			6,000			35,795
432,535	53,609	35,216	34,996	63,503	29,385	1,155,074
277,832	35,883	19,499	31,275	45,430	14,514	760,332
33,148	3,360	3,419	2,738	2,250		88,029
69,932	9,371	3,622				158,507
					12,902	12,902
16,950	500	159	31	6	222	30,934
6,133	634	235	664	385	146	15,391
447						447
						520
3,200	4,000			8,000	3,510	29,710
407,642	53,748	26,934	34,708	56,071	31,294	1,096,772
24,893	△139	8,282	288	7,432	△1,909	58,302
						5,700
48					19	697
24,845	△139	8,282	288	7,432	△1,928	63,305



グリーンハイム

昨年に引き続き、今年も南区豊滝にあるノースサファリサッポロさんの協力のもと『どこでも動物園』をグリーンハイム入口前で行ないました。昨年から利用者からは大好評であった行事で、今年も様々な動物が利用者のもとへ会いに来てくれました。

表紙の写真にもあるようにリスザルやリクガメ、それ以外にもペンギン、ヤギ、ヘビ、アヒルなど個性豊かな動物もいて、利用者はとても喜んでいました。この動物園は、動物と直にふれあうことができるため、中には生まれて初めて動物に触る方もおり、ビックリされたり、喜んだり、笑顔が見られたりと様々な表情がみられました。『楽しかった』『また来てほしい!』などの声も聞かれ、今年も好評の中で無事終わることが出来ました。来年は法人の行事として規模を大きくし、開催していきたいと考えています。



【車椅子でも見やすい形に工夫してくれました♪】

生活介護事業所 グリーンハイム

「今年は何処に出掛けましょうか?」と目的地を決める時に一番考えるのは目的地に車椅子トイレがあるかどうかと、食事場所が車椅子で入れる所かどうか。そして、やはり食事場所のトイレの場所です。入り口にスロープがあって、一見バリアフリーのファミリーレストランでもトイレが狭く利用できなかったり、車椅子用トイレは地下や2階にしかなかったり…。計画を立てるには現地調査の必要性抜きには考えられません。

そんなこんなで、二転三転しながら『身体のご不自由な方でも利用出来る施設の紹介をかねて』6月はボウリングと、ホテルバイキングを楽しむことができました。7月はユニバーサルデザインを謳っている旭山記念公園に出掛けますが、はたして、誰もが自由に楽しめる所になっているのでしょうか……。



【ホテルバイキング
おいしくいただきました。】



【セーので、ホイ!! と
ボウリングもやりました。】

和幸園

6月30日(火)、毎年「のえるの森」利用者をご招待いただいている方の畑で今年もイチゴ狩りのお誘いの声が掛かり、それにこの度は和幸園も便乗させていただく形で数名の入所者の方々と一緒にイチゴ狩りに出かけまいりました。こここのところパツとしない天気が続いていたにも関わらずこの日は割り合い天候にも恵まれました。



【このいちご、甘いね…】

ある方は「今日来られなかった人たちにお土産を持って行くんだ!」みんなのぶんの為に一生懸命採っておられ、またある方は普段フロア内では車椅子で移動しているのにこのときばかりは車椅子から降り、畑のシートの上を這うように移動しバックいっぱいイチゴを詰めて満足そうに微笑み、みなさんととてもハツラツとした表情でイチゴ狩りを楽しまれていました。

和幸園では今後も様々な外出行事を企画し一人でも多くの方々にお楽しみいただき、地域の方々との交流も深めてまいりたいと思っております。最後に今回ご招待いただきました東様に心よりお礼申し上げます。

和幸園デイサービスセンター

今年度から、誕生会の催しものは職員の手作りケーキです。皆でハッピーバースデーの歌を歌ってお祝いします。



【ハッピーバースデー・トゥーユー】

調理レクを始めました。ホットケーキ・白玉団子・お好み焼きなど…腕前を發揮しています。今度は何を作ろうか楽しみです。



【私にまかせて…】

のえるの森デイサービスセンター

雨の日が続きなかなか外出する機会がなかったのですが、太陽が覗いた日には「待ってました!」と皆さんでお出掛けをしました。6月30日には、毎年この時期に声を掛けて下さるご近所の畑へイチゴ狩りに出掛けました。この日も朝から雨で、皆さんとててる坊主を作り窓にぶら下げると・・・なんと出掛ける頃には雨も上がり、採れたてのイチゴを頬張りお土産まで頂き、皆さんとても喜ばれていました。また、先日はスタッフのお友達のご好意で自宅のお庭に咲いているバラを拝見させて頂く事が出来ました。お庭と言うよりはバラ園の様な綺麗な花々と、いい香りに包まれ素敵な時間を過ごさせて頂きました。自然に触れ、ご利用者の生き生きとした表情が見られるのも、地域の皆様の暖かいご好意のお陰と日々感謝しております。



【バラに囲まれ至福のひとつとき!】

介護予防センター石山・芸術の森

介護予防センター石山・芸術の森では、転倒予防体操教室を一会場増やし、アクロスプラザ集会所にて5月21日から実施しております。この集会所は、マックスバリュ石山店が地域の皆様も利用できるものと造られたもので、介護予防センターも活用させていただいております。毎週木曜日の10:00~11:45に実施しており、平均7~8名の方々が参加されております。皆様熱心な方々ばかりで、いつも笑顔で楽しみながら健康づくりを行っております。興味のある方はお気軽にお立ち寄り下さい。

	石山地区		芸術の森地区
会場	アクロスプラザ 集会所	石山会館 (石山まちづくり センター)	和幸園芸術の森 デイサービスセンター 「のえるの森」 地域交流室
住所	石山2条9丁目7-58	石山2条2丁目8-19	石山東7丁目1-55
曜日	毎週木曜日	隔週火曜日	隔週月曜日
時間	10:00~11:45		



【ふまねっと〜
ネットを踏まないように歩きます!!】



職員インタビュー

今回は、去年の7月から医療事務員として働いている鈴木久美子さんと今年4月から生活相談員として働いている大内徹也さんにインタビューしてみました。

Q1 この仕事を選んだ理由やきっかけは？

大内 自分自身も障がいをもっていることもあって小学校の頃から福祉の仕事に就きたいと考えていました。

鈴木 結婚前は自衛隊に勤めていました。子育てが落ち着いたので医療事務の資格をとりました。それから派遣社員として色々な職場を経験し、ハピネスで派遣社員として働いたのがきっかけです。

Q2 仕事をしていて充実感を感じる時はいつですか？

大内 利用者さんの相談に上手に対応できて笑顔で「ありがとうございました」と言われた時ですね。以前グリーンハイムに実習に来ていた時に、グリーンハイムの利用者さんとも接する機会があったので、今でもよく声をかけられます。^^

鈴木 提出事務作業を終えたときですね。(笑) 利用者さんと接する時はなかなか少ないのですが、なにが行事があったときにはお手伝いに行ってみたくですね。

Q3 今ハマっているものはなんですか？

大内 ロッククライミングです。まだ3回しか行ったことはないですが、壁のつかまれそうなところを見ると「これは登れるんじゃないか。」と思ってしまいます。(笑) 結構、普段使わない筋肉を使うんです。

鈴木 ネコです。子供がえさをやってつれてきたのがきっかけでハマりました。普段かまってくれないネコがたまにかまってくれるのが喜びです。ネコの名前は長女がルナ、次女がリンで 下がニャンです。ニャンはおばあちゃんだけタルと呼んでます。(タルビッシュが好きなんです・・・)



大内徹也さん



鈴木久美子さん

Q4 将来の夢はなんですか？

大内 いつかイギリスに行ってみたくですね。友達にイギリスの福祉のことについて教えてもらったので、いつかイギリスに勉強しに行ってみたくです。

鈴木 いつか和幸園に入所したいですね。(笑) まずは和幸園デイサービスから利用して ^^

Q5 休みの日やっていることは？

大内 社会福祉士の勉強や友達と飲みに行ったりカラオケに行くことです。

鈴木 最近澄川で教室をやっているカーブスをやっています。幅広い年齢の人がやっていて30分間で機械とストレッチを合わせたフィットネスです。とてもハードなんですよ。

少し緊張していたお二人ですが、とても明るく笑顔で話してくれました。仕事やプライベートで充実した日々を送っているようです。自分の夢やライフプランをしっかりと考えているのがとても印象的でした。

法人ホームページの進捗状況

現在、広報委員会が中心となり、法人ホームページ開設に取り組んでおります。今秋の完成を目指して鋭意作成中です。

広告募集について

法人公用車・広報誌及びホームページに広告を募集する予定です。改めてご案内いたしますのでよろしくお願い致します。

■ 編集後記 ■

早いもので、もう7月。真夏の到来です。皆さんは「夏」といえばどのような思い出がありますか？今から何十年も昔、小学生だった頃、7月は心ウキウキの季節でした。どこかへ旅行に行くわけでもなかったのに、どうしてあんなに毎日が楽しかったのでしょうか？自転車で乗ってプールへ行って、公園で遊び、虫を採って、スイカを食べて……。大人になった今、夏の思い出は「ビアガーデン」。ビールの美味しい季節がやってきましたね。

広報委員 (砂山 石橋 吉田 川口 中野 山田)



社会福祉法人 北海道ハピニッス

やさしさと思いやり SINCE 1972

障がい者支援施設 グリーンハイム

〒005-0849 札幌市南区石山933番地3
TEL.011-591-5211 FAX.011-591-5231
グリーンハイム短期入所事業

グリーンハイム診療所

TEL.011-591-5211 FAX.011-592-5063

特別養護老人ホーム 和幸園

〒005-0849 札幌市南区石山932番地3
TEL.011-591-5210 FAX.011-592-5063
和幸園短期入所生活介護事業

地域事業部

〒005-0842 札幌市南区石山2条3丁目14番地31
札幌市南区介護予防センター石山・芸術の森
和幸園指定居宅介護支援事業所
TEL.011-592-7727 FAX.011-592-7775

和幸園ホームヘルプサービス事業所(高齢者)
グリーンハイムホームヘルプサービス事業所(障がい者)
TEL.011-592-7827 FAX.011-592-7775

和幸園芸術の森デイサービスセンター「のえるの森」
〒005-0850 札幌市南区石山東7丁目1-55
TEL.011-594-2077 FAX.011-594-2088

生活介護事業所グリーンハイム
〒005-0849 札幌市南区石山933番地3
TEL.011-591-5211 FAX.011-591-5231

和幸園デイサービスセンター
〒005-0849 札幌市南区石山932番地3
TEL.011-592-7710 FAX.011-592-5063

● お知らせ / 個人情報保護法について

機関誌に利用者の写真を掲載する場合、本人の同意が必要となりますが、当施設においても本人及び家族の同意を得てから掲載させていただきます。